

現地調査の実施状況

- ・ 1 / 2号機中央制御操作室
- ・ 1 / 2号機SGTS配管（切断配管保管状況）
- ・ 2号機原子炉建屋
- ・ 1号機原子炉建屋（北側仮設架台）

2023年6月22日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

(1) 1 / 2 号機中央制御操作室 (2023年6月2日)

(1) 1 / 2号機中央制御操作室

(1) 目的

1号機RCW系統に係る弁の操作位置等を確認するために、1/2号機中央制御操作室内の操作盤等を確認する。

(2) 場所 1 / 2号機中央制御操作室(コントロール建屋内)

(3) 調査日 2023年6月2日

(4) 調査実施者 原子力規制庁職員 2名

(5) 被ばく線量

最大: 0.03 mSv、最小: 0.03 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

1/2号機中央制御操作室の確認状況



1号機中央制御操作室操作盤



(MO-31-27)



(MO-31-30)

1号機RCW系統の弁の操作スイッチ

(2) 1 / 2号機 S G T S 配管 (切断配管保管状況)
(2023年6月2日)

(2) 1 / 2号機SGTS配管（切断配管保管状況）

(1) 目的

現在、東京電力ホールディングス株式会社にて切断作業中の1 / 2号機SGTS配管について、今後、切断配管に対する汚染状況等を調査するため、切断配管の保管状況を確認する。

(2) 場所

1号機コントロール建屋屋上（切断配管保管場所）の状況を周辺の高所（1号機タービン建屋屋上等）から確認

(3) 調査日

2023年6月2日、16日

(4) 調査実施者

2023年6月2日 原子力規制庁職員 3名

2023年6月16日 原子力規制庁職員 2名

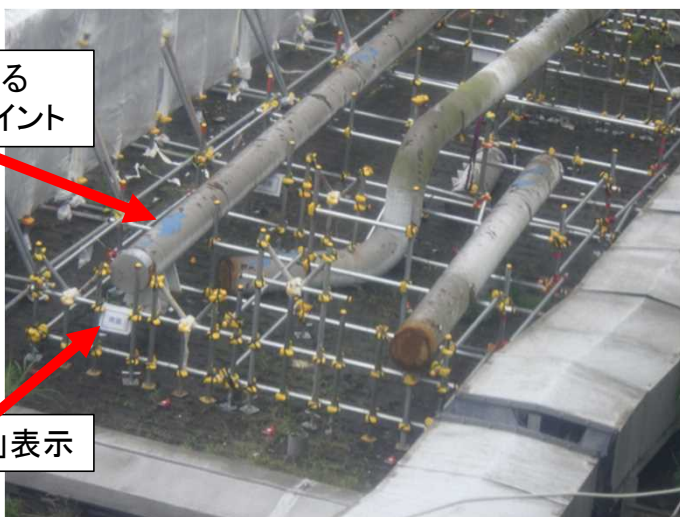
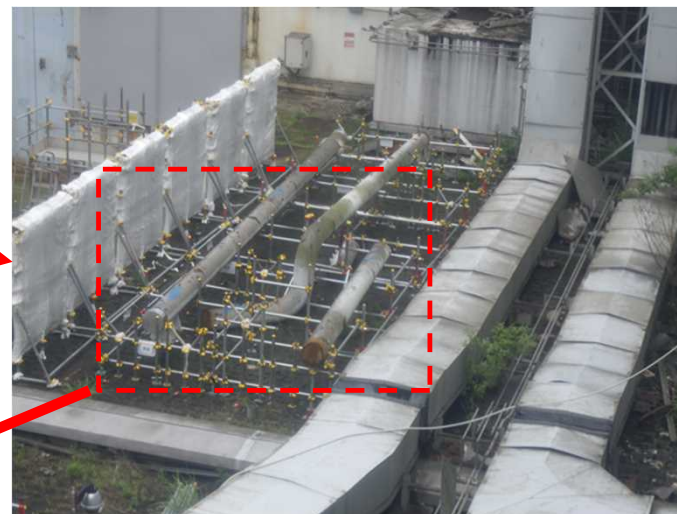
(5) 被ばく線量

2023年6月2日 最大：0.03 mSv、最小：0.03mSv

2023年6月16日 最大：0.14 mSv、最小：0.14mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

1/2号機SGTS配管の保管状況



(3) 2号機原子炉建屋 (2023年6月8日)

(3) 2号機原子炉建屋

(1) 目的

2号機における放射性物質の放出経路の推定に係る検討に資するため、2号機原子炉建屋内の各三角コーナーの中地下階からサプレッションチェンバの表面の状況を確認する。

(2) 場所

2号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年6月8日

(4) 調査実施者

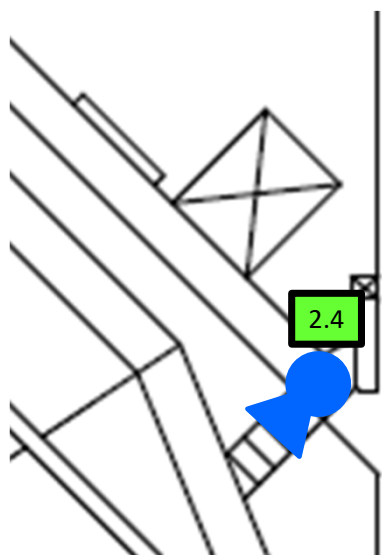
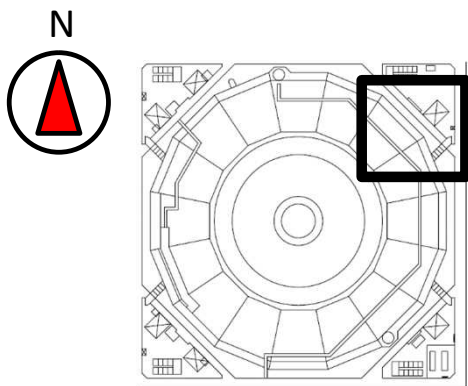
原子力規制庁職員 4名


(5) 被ばく線量

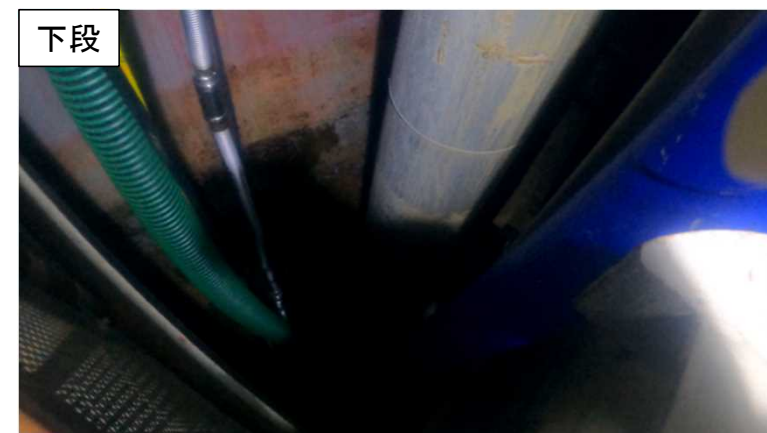
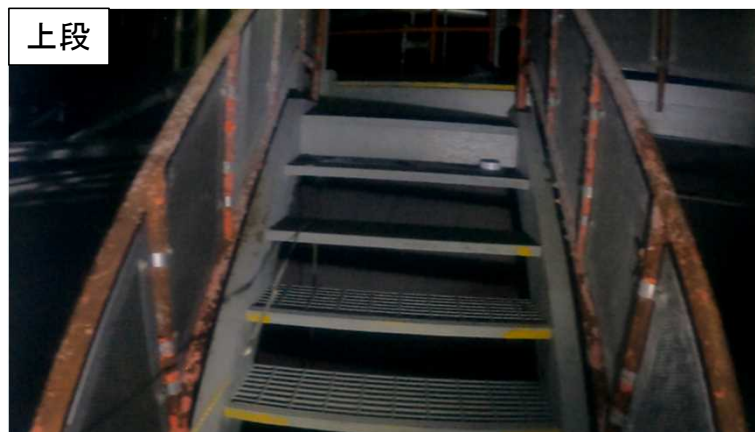
最大: 2.20 mSv、最小: 1.71 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

サプレッションチェンバの状況 (①北東側三角コーナー)

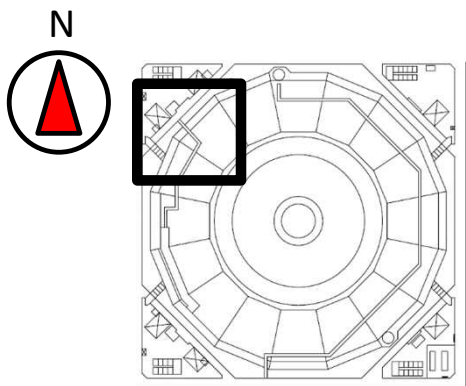


 : 空間線量率 (mSv/h)
2023/6/8、原子力規制庁



図の出典：建屋内の空間線量率について(2018年2月28日、東京電力ホールディングス株式会社)(一部加筆)
写真は、いずれも2023年6月8日原子力規制庁撮影

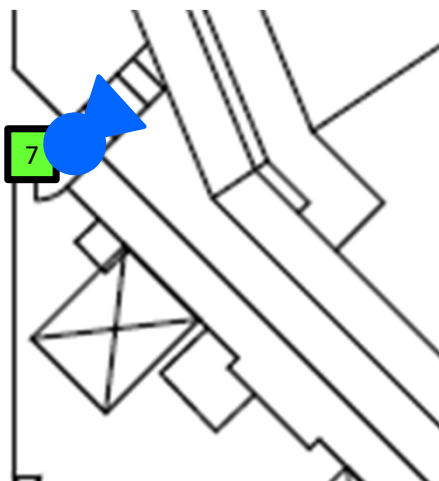
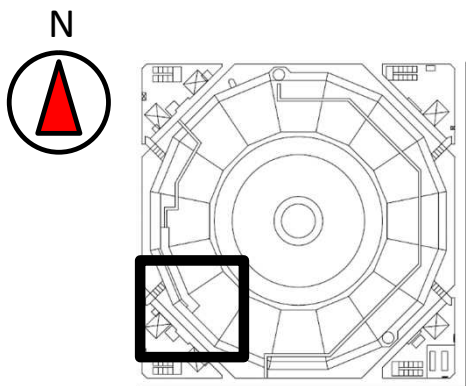
サプレッションチェンバの状況 (②北西側三角コーナー)



■ : 空間線量率 (mSv/h)
2023/6/8、原子力規制庁

図の出典: 建屋内の空間線量率について(2018年2月28日、東京電力ホールディングス株式会社)(一部加筆)
写真は、いずれも2023年6月8日原子力規制庁撮影

サプレッションチェンバの状況 (③南西側三角コーナー)

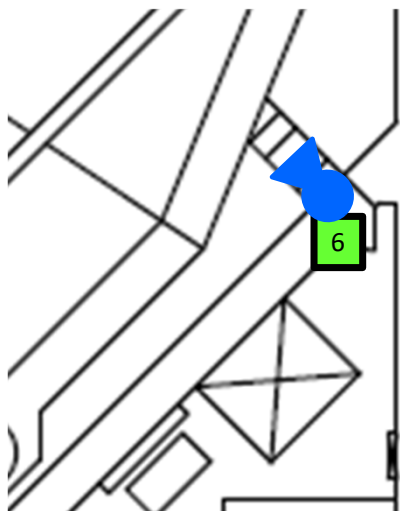
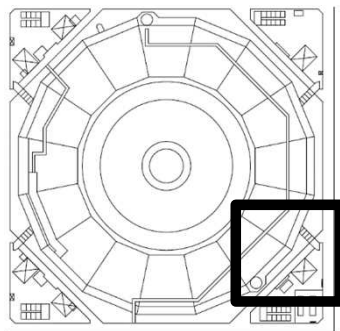
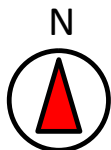



7 : 空間線量率 (mSv/h)
2023/6/8、原子力規制庁

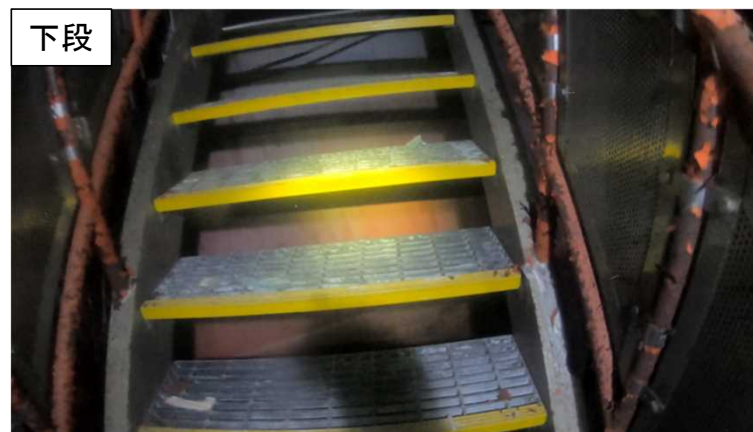


図の出典: 建屋内の空間線量率について(2018年2月28日、東京電力ホールディングス株式会社)(一部加筆)
写真は、いずれも2023年6月8日原子力規制庁撮影

サプレッションチェンバの状況 (④南東側三角コーナー)



 :空間線量率 (mSv/h)
2023/6/8、原子力規制庁



図の出典: 建屋内の空間線量率について(2018年2月28日、東京電力ホールディングス株式会社)(一部加筆)
写真は、いずれも2023年6月8日原子力規制庁撮影

(4) 1号機原子炉建屋 (2023年6月9日)

(4) 1号機原子炉建屋

(1) 目的

1号機原子炉建屋オペレーションフロアの状態等を確認するため、1号機原子炉建屋北側に設置中の仮設架台からオペレーションフロアの状態を確認する。

(2) 場所

1号機原子炉建屋(仮設架台)

(3) 調査日

2023年6月9日

(4) 調査実施者

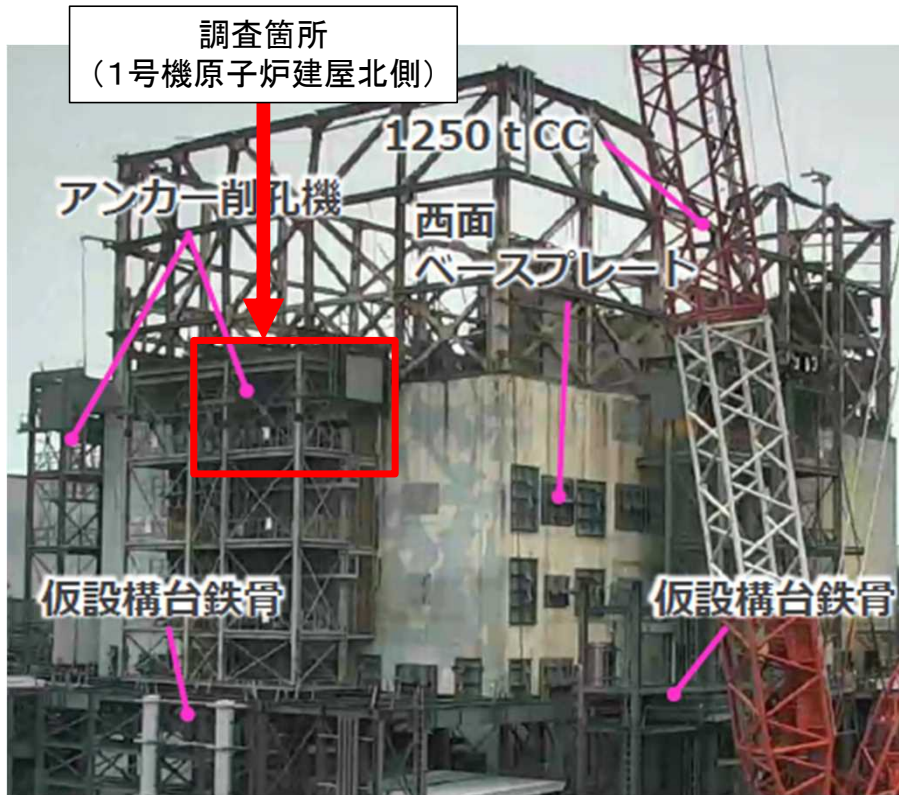
原子力規制庁職員 5名

(5) 被ばく線量

最大: 0.25 mSv、最小: 0.14 mSv

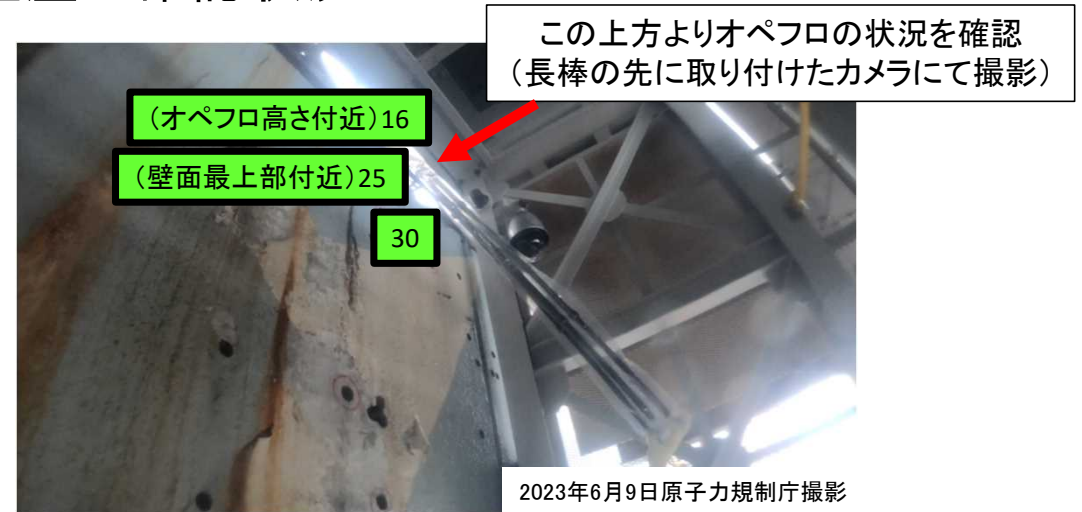
※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

1号機原子炉建屋の確認状況

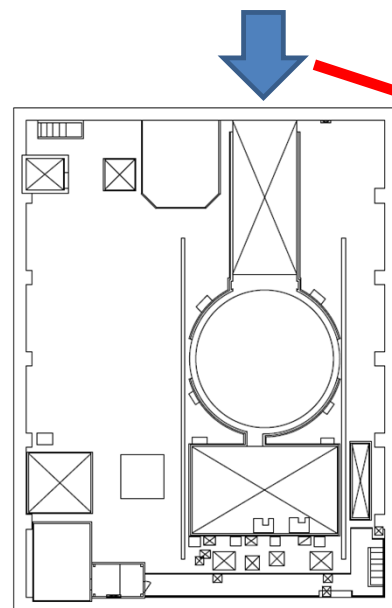


出典：1号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について
(2023年5月25日、東京電力ホールディングス株式会社) (一部加筆)

: 空間線量率 (mSv/h)
2023/6/9、原子力規制庁



1号機原子炉建屋の確認状況



1号機原子炉建屋5階平面図

